

熊野川 (くまのがわ)

くまのがわ あめのおおきいはんとうながもとおおかわ
熊野川は、雨の多い紀伊半島を流れる最も大きな川で
和歌山・奈良・三重の3県にまたがって流れています。

ゆたかなしぜんに恵まれ、川と海を行き来するハゼなどの魚がたくさんいます。



おのだにばしかりゅう 相野谷橋下流



平成24年10月13日

参加人数 10人

近畿大学附属
新宮高等学校・中学校

きれい.....7点
2点 1点 1点 2点 1点

ややきれい...2点
1点 1点

このばしょは きれいな水

ここでは、カワゲラ類、
ヒラタカゲロウ類が多かったよ。
水がきれいなんだね。



? どんな生き物がいたかな? なんて名前かな? 13ページの表で、しらべてみよう。

むかしくまのがわ くまのさんざん まいり
昔、熊野川は、熊野三山にお参りするのための大切な「川の参詣道」として、たくさん
の人に利用されていました。古代・中世のころは、本宮から新宮まで川船で川を
くだり、熊野速玉大社にお参りしていました。

くまのがわ みず うつ か 熊野川の「水のきれいさ」の移り変わり



おのだにばしかりゅう
相野谷橋下流は、10年
以上変わらずにきれい
だね。これからもきれい
な水を大切にしよう!



かわぶね くまのがわ くだり さんけい ひと
川舟で熊野川を下って参詣する人